

経営比較分析表（令和5年度決算）

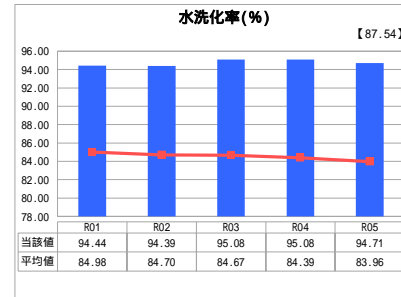
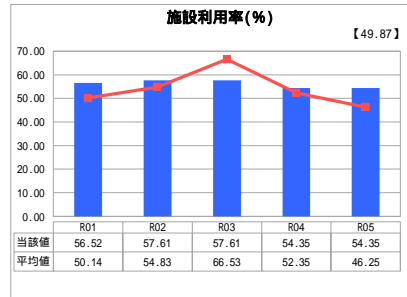
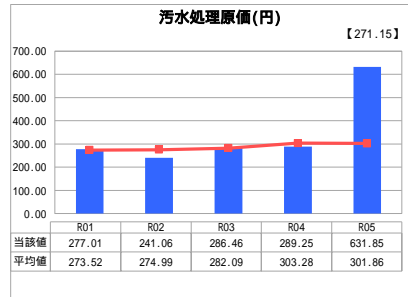
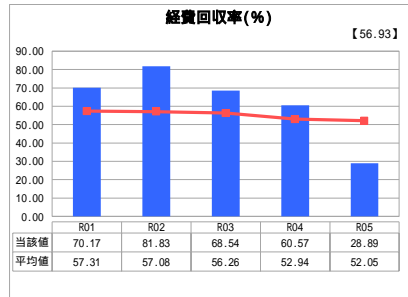
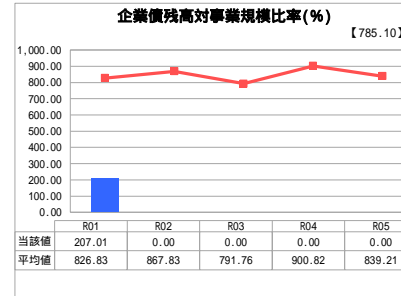
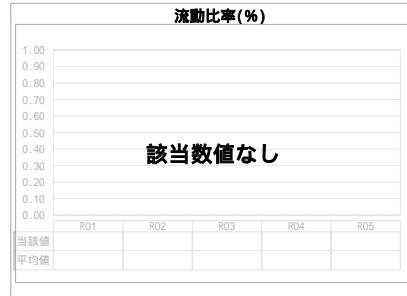
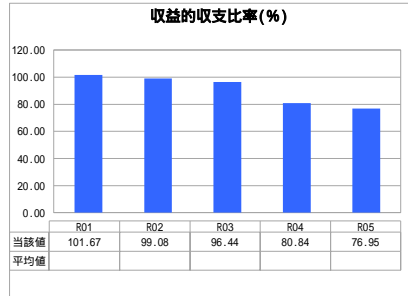
熊本県 苓北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.68	100.00	3,790

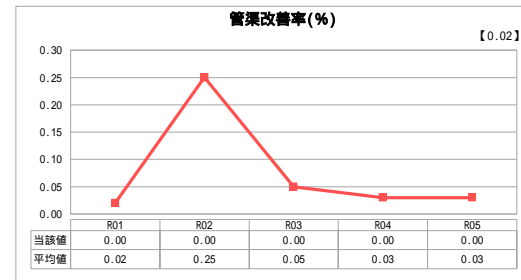
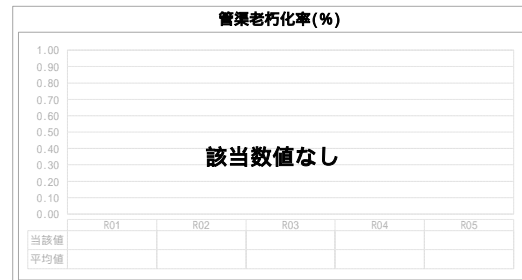
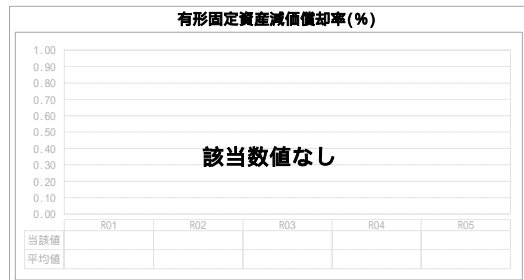
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,409	638.22	10.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
170	0.21	809.52

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

について
光熱水費の高騰、修繕に伴う資材の高騰が影響している。

について
企業債残高対事業規模比率は0%であるが、起債の償還金は一般会計からの繰入で補っているのが現状である。

について
経費回収率は、光熱水費の高騰、物価の高騰、公営企業会計移行に伴う委託料が増加したため、汚水処理費が増加し、本年度は全国平均より大幅に減少した。

について
汚水処理原価は、光熱水費の高騰、物価の高騰、公営企業会計移行に伴う委託料が増加したため、汚水処理費が増加し、本年度は全国平均より大幅に増加した。

について
山間部であり、水洗化率は横ばいであるが、施設利用率は微減している。

について
水洗化率は、類似団体より高い水準を維持しているが、近年は横ばい状態で引き続き加入促進を図っている。

2. 老朽化の状況について

平成11年・14年から供用開始し、25年が経過しようとしている。施設等の機器の故障はもちろん、管渠の老朽化も進んでいる。今後、安定した経営を行うためには管渠も定期的に更新する必要がある。突発的な修繕が起きないように最適化構想に基づき施設管理を行っていきたい。

全体総括

将来、人口減少による加入者の減に伴う使用水量の大幅な減少や、物価高騰による光熱水費、資材の高騰が経営に影響を与えていることが予測される。今後は、施設のダウンサイジングやストックマネジメント計画に沿った適切な設備更新を行い、更新費用を賄うためにも今後は使用料改定についても検討を行う。